

2024年11月7日

【高松グループ】高度外国人財の採用と育成への取り組み

当社グループの青木あすなろ建設が、
スリランカ、フィリピンから高度外国人財を採用



株式会社高松コンストラクショングループ（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：高松浩孝、以下当社）のグループ会社である青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻井靖、以下「青木あすなろ建設」）は、スリランカおよびフィリピンから高度外国人財を採用しています。

2022年より現地の土木工学部を卒業した新卒ないし第二新卒にあたる世代の総合職採用の準備を開始し、2023年4月に13名、2024年4月に18名が入社いたしました。

2023年に1期生として入社したスリランカ人技術者は、日本人社員と共に数ヶ月の新入社員研修を経て、現在では全員が全国各地の土木工事作業所にて活躍しております。また、それぞれが施工管理の仕事に意欲的に取り組みながら、土木施工管理技士資格や、より高いレベルの日本語検定試験などにもチャレンジし、合格しています。



■採用後の支援 「海外技術者育成就労支援室」の設置

高度外国人財への教育やケアを継続的かつ専門的におこなうために、2024年度より「海外技術者育成就労支援室」を設置いたしました。

日本語や日本文化、社内規定、施工管理、安全の教育などに対する理解を深めてもらえるよう、支援する体制を整えております。

今後も高度外国人財の成長を継続的に支援し、一人ひとりが持てる能力を十分に発揮できるよう努めてまいります。

■高松グループが目指すもの

当社グループは『高松グループ ダイバーシティ&インクルージョン ビジョン』を掲げ、ともに働く社員の年齢、性別、国籍、障がい、性的指向、家族構成などの多様性や個性を尊重しながら、ベクトルは揃えて最大限の力を出し、積極果敢に変化革新に挑戦すること、またそのために、一人ひとりの働きやすさや働きがいにつながるルールの整備や、協働し合える企業風土の構築に取り組んでいます。

ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、多様な視点を取り入れることで組織としての柔軟性を高め、持続可能な成長を実現してまいります。